

OYABE VOICE

2024年
春号

おやべ市議会だより | No.213 2024.5

議員は市民の代表、あなたの声を聴き市政に届けています。そんな議会の活動をお伝えします。

特集
元気な
高齢者



「元気な高齢者の集まる拠点」でインタビュー

みんなの居場所 いつまでも元気におしゃべり

OYABE VOICE の今回の特集ページのインタビューは、今石動町の「お茶の間カフェカメラリア」さんと津沢の「松の湯オープンハウス」さんです。



・お茶の間カフェカメラリア

今石動町にあります「お茶の間カフェカメラリア」さんに訪問しました。

カメラリアさんは地域の方が集う憩いの場となっています。お客さんは年配の女性が多く、ここに来ることを楽しみにしているそうです。

店主の林山さんは小矢部市生まれで、結婚を機に県外で長らく暮らしていたそうですが、主人を早くに亡くされ、子供も成長して大人になった頃、同級生から帰って来ないかと誘われ、小矢部に戻ってこられました。お菓子作りが趣味で友人や知り合いにプレゼントすると「お菓子屋さんを始めたら」と言われるくらい大変喜ばれたことから、たくさんの方にお菓子を食べていただきたく9年前にお菓子作りを活かしたカフェを開かれました。

店舗は、同級生の実家を使われており、入り口は民家そのままでした。店内にはお客さんが持ち寄ったお花や木目込みの素晴らしい絵などがたくさん飾ってあり、とても家庭的な雰囲気です。お客さん同士和気あいあいと話を花を咲かせておられ、大変素敵な居場所になっていました。



<訪問先紹介>

お茶の間カフェ カメラリア
住所：小矢部市今石動町1丁目7-1
営業時間：10：00～18：00
（水曜休）
電話：0766-75-9533

・松の湯オープンハウス

津沢にあります「松の湯オープンハウス」さんに訪
問し、代表の末永さんにお話を伺いました。

——開いた経緯を教えてください。

昔の津沢にはいろんな店がありました。近年は店が少なくなり、寂しくなっています。私たちは昔のにぎわいや楽しく集う場所あればいいなと常々話し合っていたのですが、9年前にこの建物の持ち主の方から「皆さんに喜んでいただけるなら」との深いご厚情によりお貸しくださることになりました。そして、有志で建物の片付けや修理をしたり、足りない備品は持ち寄ったり、また、自治会長さんにご協力いただき、おやべ型1%まちづくり事業にも採択され、皆さんが気軽に集まれる「松の湯オープンハウス」を始めることになりました。名前の由来は、この場所にあった松の湯という銭湯です。

——ここではどのようなことを行っているんですか？

入館料として200円頂き、コーヒーやお茶、簡単なお菓子を出具えています。来館者さんは会話やマージャンを楽しみ、その日の帰り際に皆さんで「かかと落とし運動」なども行っています。なお、水曜日の午前中はマージャン専用で開いています。



代表の末永さん

——どのような方が来館されるのですか？

ほとんどが高齢女性ですが、毎回10〜15名程の方が来られます。

——運営していく中で課題や悩みはありますか？

現在17名のボランティアで運営を行っており、今年で10年目を迎えます。始めたときはボランティアの皆さんも若かったのですが、年々高齢化が進んでいます。一区切りつけ後継者に譲りたいのですが、なかなか人材が集まりません。利用者が沢山いる中で、ここを運営してくれる若い後継者不足が一番の悩みです。

——市や議会に望むことはありますか？

市の1%事業では電気・水道代を補助いただけますが、事業費とそのほかの維持管理費は入館料200円で捻出しています。今、エアコンが1台が故障していますが、修理できず、残りのエアコンと自宅から持ち寄った電気カーペットで寒さをしのいでいます。

市の財政の厳しさも理解していますが、冬の寒さや夏の酷暑を考えるとエアコンの故障はつらく、エアコン等の住設機器を補助していただけないでしょうか。



<訪問先紹介>
松の湯オープンハウス
住所：小矢部市津沢340
営業時間：月・水・金
13:00~16:00



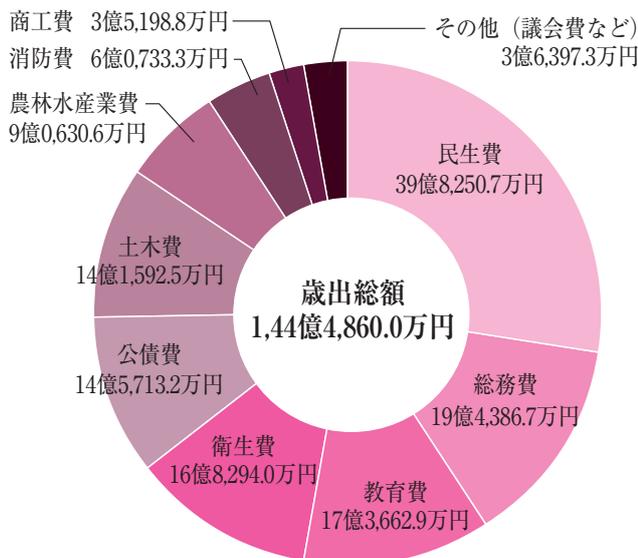
小矢部市内には、この他にも、このような拠点がまだまだあり、お近くにもあるかもしれません。ぜひ探し、訪れてみてください。



7 市民は知っておきたい 令和6年度の注目予算 のポイント



令和6年度歳出予算（一般会計）



令和6年度の当初予算（一般会計）は、144億4,860万円、昨年度に比べ7.6%増となりました。

Point 1

定住促進住宅取得事業の拡充

定住促進住宅取得事業が下記のとおり拡充されます。

拡充内容

- 新婚世帯の定義緩和：婚姻3年以内 → 5年以内
- 新婚世帯の転入要件の撤廃
- 助成金上限を100万円に統一
- リフォーム費用も対象に

予算額
3,300万円



令和5年度の補正予算、
令和6年度当初予算などを審査する

3月定例会

March

3・6・9・12月に開催される定例会の内容をお届けします。3月定例会では、上程議案「補正予算10件、条例10件、議員提出議案1件、その他3件」を審査しました。

3月定例会の流れ



▲動画配信中

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| 本会議 | 3/5(火) 10:00 - | 1 | 市長による議案の提案理由説明 |
| 全員協議会 | 3/5(火) 10:30 - | 2 | 担当部長等による提出された議案の説明 |
| 本会議 | 3/11(月) 10:00 -
3/12(火) 10:00 - | 3 | 上程議案への質疑並びに市政に対する代表質問・一般質問 |
| 委員会 | 3/13(水) 10:00 -
3/14(木) 10:00 -
3/15(金) 10:00 - | 4 | 予算特別委員会 |
| 委員会 | 3/18(月) 10:00 -
3/18(月) 14:00 -
3/19(火) 10:00 -
3/19(火) 14:00 - | 5 | 総合計画特別委員会
民生文教常任委員会
交通観光特別委員会
総務産業建設常任委員会 |
| 全員協議会 | 3/22(金) 13:00 - | 6 | 追加で提出された議案の説明 |
| 本会議 | 3/22(金) 15:00 - | 7 | 議案の討論・採決など |

議員別賛否状況は、11ページをご覧ください。

Point 5

学校給食センター整備にかかる 実施設計・整地等工事

令和6年3月策定の基本設計に基づき、学校給食センター整備工事実施設計が行われます。また、建設地の用悪水路改修と整地等の工事が行われます。

予算額 **1億2,163.7万円**



- 建設地：新西創業者支援団地用地
- 令和8年度開業予定

Point 6

農業研修生を受け入れる経営体 に補助金の支給

農業後継者の育成を図るため、農業で自立を目指す者を研修生として受け入れて農業技術を指導する農業経営体に対し、補助金が交付されます。

補助額
受け入れ研修生（60歳未満）
1人につき10万円/月



予算額 **120万円**

Point 7

本庁舎整備の総合的な検討

令和6年能登半島地震で市役所本庁舎が大きな被害を受けたため、早急に本庁舎整備を進める必要があることから、本庁舎整備事業基本計画・基本設計の策定と敷地測量が行われます。

予算額
1,500万円



Point 2

こども家庭センターの設置

改正児童福祉法に基づき、「こども家庭センター」が設置されます。

予算額
3,107.4万円



- 令和6年4月から
- 臨床心理士による相談の場設置
- 支援を要する子供や妊産婦を対象としたサポートプランを作成する作成支援員（助産師）配置

Point 3

インフルエンザ予防接種助成の拡充

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、インフルエンザ予防接種助成が拡充されます。

予算額
981.1万円



- 対象者を高校生までに拡充
- 小中学生 1,000円/回 → 3,000円/回

Point 4

防災備蓄品・資機材の整備

令和5年7月豪雨、令和6年能登半島地震の経験を踏まえ、防災備蓄品や資機材を整備・更新されます。

- 備蓄食の充実、避難所用簡易トイレ等の備蓄品の整備
- 予算額 **400万円**

- 備蓄食・飲料水の更新
- 予算額 **150万円**



- 地区防災会に避難所開設を依頼するために必要な資機材の整備（18セット）
- 予算額 **90万円**



- 資機材（ポータブル蓄電池など）の購入
- 予算額 **199万円**





定例会中の 質問や意見をご紹介します

今定例会中に上程議案や市政全般に対して、議員からあった質問・意見の一部をご紹介します。
なお、全ては掲載できないため、興味のある方はYouTubeの動画や議事録をご参照ください。

総務産業建設常任委員会

障害者就労支援を目的に飲食物販施設として使用されておりましたが、作業補助員の人員や人件費の確保が困難であるとの理由等から、本年3月末をもって使用を終了されることとなりました。

今後の使用方針等



- ・待合室利用者の快適性を保つ観点から、物販や軽飲食の提供を行う事業者の募集を行い、引き続き、駅利用者の利便性・快適性の確保を図る。
- ・4月末までを募集期間とし、出店希望者によるプレゼンテーションを行った後に、早ければ6月1日の営業再開に向けて進める。

討していく。利用者の利便性に繋がる活用方法はないか検討していく。

問 募集はいつ頃から行う予定か。
答 募集期間は、4月末までとし、その後、出店希望者によるプレゼンテーション等を行い、早ければ6月1日からの営業再開に向けて進めていきたい。

問 県外の団体がテナントに入ることも可能か。また、応募がなかった場合は、どのように考えるか。
答 募集要項では、県内外の個人または法人、その他の団体となっており、幅広く募集していきたい。応募がなかった場合については、まずは公的な利用が可能かどうかを検討し、その他、駅の待合室に隣接しているの、待合室の利用者の利便性に繋がる活用方法はないか検討していく。



石動駅2階待合室内のテナントスペースの使用終了について

民生文教常任委員会

スクールバスの購入にあたり、充当財源の見直しにより、一般財源で措置するため財源更正を行ったものです。

費用額：2,170万円

財源：
地方債 → 一般財源



起債の残高が増えるわ
今回の起債をどうして一般財源に振り替えたかという、災害により起債の残高が増えるわ

問 今回、一般財源を使わざるをえなくなつた理由を詳細に説明してほしい。
答 交付税は2通りあって、1つは、運行に際し、運行台数に合わせ交付税措置されるもの。もう一方は、購入にあたって措置がされるものと認識している。今回起債をどうして一般財源に振り替えたかという、災害により起債の残高が増えるわ

問 災害関連の起債も同程度の交付率なのか。要するに、これが下がるといふ意味がない。
答 災害復旧にかかる起債の交付税措置は大変高率になっている。種別によるので一概に何%とは申し上げられないが、今、交付税でスクールバス購入するよりも高率の助成となっているので、財政負担を軽減しようという一つの措置とご理解いただきたい。



スクールバス購入費用の財源更正について

代表質問



会派「新政」
たけまつ とよかず
竹松 豊一 議員

質問項目

- ・災害に強いまちづくり
- ・市庁舎整備について
- ・令和6年度予算について
- ・新教育長の教育ビジョン

問 能登半島地震での被害が多かった箇所の見解を問う。

答 石動断層がある石動や殖生地区で住家被害が集中をしている。

問 能登半島地震の教訓から、地域防災計画、避難所運営マニュアルの見直しを問う。

答 地域防災計画の見直し、避難所運営マニュアルの改訂について検討をしていく。

問 住居の耐震化率向上への見解を問う。

答 新たに耐震改修設計に対する補助制度を新設するなど、命や暮らしを守るため、対策を講じていく。

問 国道359号線の甚大な崩落の復旧を問う。

答 仮設道路の6月末までの完成を目指す。

問 被害の大きかった

取り組みたい。

問 6年度予算の「強く優しい地域」を問う。

答 自助・共助の考えの下、お互いに支え合う地域づくりを目指し、子供や子育て世帯、高齢者に寄り添った優しさあふれる支援を実施していく思いである。

問 小中学校統廃合についての見解を問う。

答 児童生徒数の推計等も勘案して、地域住民や保護者との意見交換等を踏まえて、慎重に検討していく。

問 教育長の教育現場の経験からの課題等への見解を問う。

答 直接学校に赴いて、共に悩み考えることで、解決につなげていき、教育長室に入りやすい場所にしていきたい。

問 教育長の小矢部市の教育ビジョンを問う。

答 情報修正能力、ふるさとを誇りに思う心、言葉の力を大切に、子どもに学ばせたい。

問 地震発生後の初期対応について、行政の役割・機能をどこまで発揮できたのか。

答 避難所の開設数が十分だったかという課題はあるが、死亡者、重傷者がいなかったため、最低限の役割と機能を発揮できたと考ええる。

問 地区防災会は、機能が発揮できたのか。

答 地区防災会が公民館を避難所として開設した情報を市が把握していなかったため、市民に地区の避難所開設の情報を発信できなかった。地区防災会との情報伝達手段等について、協議、検討する必要がある。

問 今後の検証方法とスケジュールを問う。

答 市自治振興会協議会や市自主防災組織連絡協議会、市防災会議

でも意見を伺い、課題の洗い出し、どのような対応が有効か検討した上で検証を進め、令和6年度中には、地域防災計画や防災体制の見直し、各種計画やマニュアル等の改訂に反映したい。

たな児童生徒数の推計等も勘案し、タウンミーティング等による地域住民や保護者との意見交換を踏まえ、今後の小中学校の在り方について、慎重に検討を進める。

問 タウンミーティングは男性や年上の方が多く、子どもや女性、若い方は参加しにくい。本庁舎の整備や小中学校の統廃合は急ぐことも大事だが、建て替えとなれば60年先まで使うかもしれないので、しっかりと考えて進めなければならない。未来を担う若い人たちが女性の声も拾えるタウンミーティングにしても、りたいと思うが、市長の考えを確認する。

答 若い方、女性の方、子どもたちの意見を聴きたいという思いはもちろん持っている。

問 小中学校の統廃合について問う。

答 令和6年度は、新

たな児童生徒数の推計等も勘案し、タウンミーティング等による地域住民や保護者との意見交換を踏まえ、今後の小中学校の在り方について、慎重に検討を進める。

問 タウンミーティングは男性や年上の方が多く、子どもや女性、若い方は参加しにくい。本庁舎の整備や小中学校の統廃合は急ぐことも大事だが、建て替えとなれば60年先まで使うかもしれないので、しっかりと考えて進めなければならない。未来を担う若い人たちが女性の声も拾えるタウンミーティングにしても、りたいと思うが、市長の考えを確認する。

答 若い方、女性の方、子どもたちの意見を聴きたいという思いはもちろん持っている。

問 小中学校の統廃合について問う。

答 令和6年度は、新

たな児童生徒数の推計等も勘案し、タウンミーティング等による地域住民や保護者との意見交換を踏まえ、今後の小中学校の在り方について、慎重に検討を進める。

問 タウンミーティングは男性や年上の方が多く、子どもや女性、若い方は参加しにくい。本庁舎の整備や小中学校の統廃合は急ぐことも大事だが、建て替えとなれば60年先まで使うかもしれないので、しっかりと考えて進めなければならない。未来を担う若い人たちが女性の声も拾えるタウンミーティングにしても、りたいと思うが、市長の考えを確認する。

答 若い方、女性の方、子どもたちの意見を聴きたいという思いはもちろん持っている。

問 議員のひとこと

タウンミーティングに参加して、あなたの声を届けてください。

たな児童生徒数の推計等も勘案し、タウンミーティング等による地域住民や保護者との意見交換を踏まえ、今後の小中学校の在り方について、慎重に検討を進める。

YouTubeで代表質問の動画を配信中!! ▶
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



林 議員



竹松 議員

一般質問



いしま じゅうじ 議員
石間 庄二 議員

質問項目

- ・避難所開設等について
- ・まちづくりについて
- ・学校教育について

問 避難者の集中による過密、避難所自体の被災による利用制限など今回の避難所の開設、運営の課題整理とその対応について伺う。

答 市各種協議会等の避難所運営等の意見も含め、課題の洗い出しや有効な対応の検討をした上で、6年度中には地域防災計画や防災体制の見直し、各種計画、マニュアルなどの改訂と予算措置も含め対応していきたい。

問 市庁舎を再建設するなら、人が集まるまちづくり、例えば、文化・芸術・経済交流施設クロスランド又は商業施設アウトレットパークとの一体化を考えるとどうか。後世の市民に「令和の英断」と評価されるよう願う。

答 整備に当たって、費用、スケジュールなどの条件、制約等を踏まえて議論を重ねていく。まずは庁舎の必要とされる機能がいかなる場合においても十分発揮できることが重要ということを踏まえた上で、まちづくりの観点における庁舎整備の場所に対する意見も伺いながら、今後の基本計画、基本設計の策定に向けて進んでいきたいと思っている。

問 児童手当制度の改正内容について問う。

答 所得制限の撤廃、支給を満18歳年度末までに延長、第3子以降の支給額を月3万円に引き上げ、支払月を年3回から年6回にすること等が主な改正点である。

問 第3子の繰上げ問題について問う。

答 子供3人が全員満18歳年度末まででないと適用されない第3子以降への加算方法を、22歳年度末までとする案が示されている。

問 今回の児童手当拡充による、扶養控除の変更はあるのか。

答 令和7年度税制改正では、16歳～18歳の扶養控除を、国税38万円を25万円、地方税33万円を12万円に縮小することが検討されている。

問 第9期の介護保険料について問う。

答 第1号被保険者の基準月額を据え置き、現行同じ6千100円である。

問 第1号被保険者の所得段階区分別保険料の改定について問う。

答 9段階から13段階に変更となり、第1段階と第9段階の被保険者の保険料が減額となる。

問 なぜ所得の多い第9段階の人が減額に？所得の少ない層の高齢者は絶対納付できない。

答 基準額に乗ずる率については、県内9保険者の過半数が採用した率等を考慮し決定した。



なかだ まさき 議員
中田 正樹 議員

質問項目

- ・児童手当制度と扶養控除について
- ・介護保険料の改定について

問 今後の防災体制を問う。

答 令和6年度中に地域防災計画や防災体制を見直し、各種計画、マニュアル等の改訂に反映するとともに必要な予算措置を含めて対応する。

問 こども園や小学校のグラウンドの環境整備が充分でなく、雑草が多く繁茂し、虫に刺されることもあるそうだ。また、グラウンド回りの植栽が大きくなり、教育後援会が援助している学校もある。学校に任せるのではなく、市で一括管理できないか。

答 グラウンド整備については、草取り機による手法も含め、効率の良い手法を探りたい。また、植栽の一括管理



たにくち たくみ 議員
谷口 巧 議員

質問項目

- ・防災体制について
- ・学校植栽管理について
- ・小学生の登下校管理について等

については、市内小学校の管理状態を確認し、意見も伺いながら管理の在り方を検討したい。

問 小学生の登下校をICTで管理できないか。

答 現在の学校における防犯対策の状況等を踏まえ、先進事例を確認しながら必要性について小中学校長会を通して検討していきたい。

議員のひと言
石動町は天正地震により木舟城が倒壊した事により出来た町と言われている。小矢部市史には、洪水や台風、大雪、大火等の災害の歴史が多く記録され、決して災害が少ない場所では無いことが分かる。一人一人の防災意識が大切だ。

◁ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



谷口 議員



中田 議員



石間 議員

一般質問

問 地域防災計画の中に、断水対策として飲料水兼用の耐震性防火水槽の整備や非常用井戸として手動式吸い上げポンプの確保の記載

答 地震等の被害で作付できない被災田と地震等の被害の復旧工事として、市全体で合わせて約3.1haとなっている。能登半島地震により作付面積が減少し、生産者の収入が減少した場合、収入保険に加入していれば、基準収入からの減少幅を個別に調査、確認を行った後に、対象となれば補償される。

問 子育て世帯へ支援しているが、子育て支援費の支給等により、人口増は本市の重要課題であるので、庁内全体で協議を重ねながら、より効果的かつ公平な支援策の構築に努めた

答 現状、整備や確保はできていないが、震災対策用井戸の確保のため、震災時の非常用井戸として利用できる井戸の調査を進めたい。

問 市庁舎の今後の建て替えの考え方、計画の進め方について問う。

答 本庁舎整備の場所については、市有地の活用を前提とするものである。その上で、人口減少と高齢化を踏まえ、都市計画マスタープランでは、都市機能の集積を掲げていることから、都市機能の中核を担う本庁舎整備については、このまちづくりの方針に沿って場所を決めることとしている。

問 被災自治体向けのふるさと納税の寄附金活用方法について問う。

答 本市に寄せられた寄附金は、2月末時点において1千556件、金額として約1千53万円となっており、被災された方々に対する住宅災害見舞金に要する費用に充当

問 防災士と連携した災害対応について問う。

答 防災士には、まずは自分の身の安全確保を第一優先とし、避難誘導や避難所の開設・運営など、地区住民と協力した被災者支援にご協力いただきたい。また、平常時からの知識向上やスキルアップ、ネットワークの構築等により、地区の防災力向上を期待する。

問 地区防災訓練の充実・強化について問う。

答 二つの大規模災害を受け、各地区においても検証を行い、地区防災計画の見直しや各種災害に対応した地区防災訓練を実施していただきたい。今後は、避難所開設初動活動ボックスを各地区に設置する予定で



いしだ よしひろ 議員
石田 義弘

質問項目

- ・災害復旧と見通し、今後の災害対応について
- ・少子化対策について等

問 1月の能登半島地震で農地にも被害が生じている。災害による作付け不能面積の状況と補償等について問う。

答 現状、整備や確保はできていないが、震災対策用井戸の確保のため、震災時の非常用井戸として利用できる井戸の調査を進めたい。

問 市庁舎の今後の建て替えの考え方、計画の進め方について問う。

問 野寺交差点の通学路の危険解消に向けて、改良工事の進捗状況について問う。

問 防災士と連携した災害対応について問う。

問 農業分野のJーケレジットの取組みを進めてはどうか。



しらい あたる 議員
白井 中

質問項目

- ・能登半島地震の被害状況や復旧復興に向けた取組み
- ・通学路の危険解消



やまだ よしひろ 議員
山田 吉晴

質問項目

- ・防災士と連携した対応
- ・防災訓練の充実・強化
- ・Jーケレジットの取組み
- ・農業の地域計画策定等

YouTubeで一般質問の動画を配信中!! ▶
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



山田 議員



白井 議員



石田 議員

一般質問



しまだ ゆきえ 議員
嶋田 幸恵

質問項目

- ・庁舎の現状及び今後
- ・防災士養成について
- ・防災井戸設置について

問 庁舎の現状について問う。

答 相当のダメージを受けていると考える。被害を少しでも今後軽減するために、キャビネット等の落下や転倒防止、避難経路の確保など庁舎の地震対策に努める。

問 庁舎の改修について問う。

答 今回、激甚災害の指定を受けて有利な起債が認められた。違ったところへ行つて新しく建てるのではなく、現庁舎を建て替える場合、その起債が活用できる。

問 外国人の防災士養成について問う。

答 日本語を使うことが可能な方であれば資格取得は可能。市の防災士資格取得事業に国

籍の用件は設けていない。ぜひ外国人の方にも資格取得してもらいたい。

問 防災井戸の設置について問う。

答 今回の地震をうけて、災害時は飲料水や生活用水の確保が極めて重要であると認識した。停電時や断水時においても利用できることから災害時の水の確保として有効な手法である。災害時の非常用井戸として利用できる井戸の調査を進めている。

問 こども家庭センターについて問う。

答 本年4月から開始する。市のホームページ・広報おやべ、またこども家庭課内の窓口対応において、十分周知していきたい。



うえだ ゆみこ 議員
上田 由美子

質問項目

- ・学校体育館の冷暖房設備設置について
- ・住宅の準半壊に50万円の支援を求める

問 小中学校の体育館が避難所に指定されているが、冷暖房設備はない。また、昨年の夏は平均気温が過去最高であったため授業で体育館の使用を控える日が、多い学校で5日間あったとのことだ。放課後児童クラブでは、夏休み期間中グラウンドやプール、体育館の使用はどうだったか。

答 夏休み期間中プールが使用できなかった日は6割ほどであった。体育館やグラウンドは気温や湿度により使用時間を判断している。

問 学校教育や避難所開設、放課後児童クラブの児童の利用に備えて、学校体育館に冷暖房設備の設置を急ぐ必要がある。計画はどうか。

答 夏休み期間中プールが使用できなかった日は6割ほどであった。体育館やグラウンドは気温や湿度により使用時間を判断している。

問 議員のコメント

他に、被災建物等の固定資産税の減免・評価見直し、税金申告での雑損控除について質問した。

答 第7次総合計画後期実施計画で、学校体育館の断熱性能を確保した上で空調設備の整備を検討していきたい。

問 地震で住宅被害が半壊以上の方には被災者住宅再建支援金が支払われるが、準半壊の方にはない。県内他市では市独自で支給する。小矢部市でも必要だ。

答 他市での準半壊世帯への支援は、液状化への対応策だ。本市は液状化による住宅被害は見られないので今のところ予定していない。近隣市の状況を踏まえ、検討していく。

議員のコメント

他に、被災建物等の固定資産税の減免・評価見直し、税金申告での雑損控除について質問した。



ふじもと まさひろ 議員
藤本 雅明

質問項目

- ・人口減少問題について
- ・人づくりについて

問 小矢部市の人口の推移について問う。

答 令和4年が328人の自然減、47人の社会減。令和5年が315人の自然減、69人の社会増。人口減少の要因は、出生者数と死亡者数の開きが年々大きくなり、人口減少の大きな要因となっている。

問 小矢部市も、あつたか子育て日本一を目指すなら思い切った施策が必要である、当局の見解を問う。

答 本市では、令和5年4月から、こども医療費助成を高校生までに拡充。また、保育所・こども園の3歳以上児に係る副食費について第3子以降は無料とし、同時入所の第2子は半額とするなどの軽減事業を行っている。

議員のコメント

まちをつくるのは人、これからの小矢部市をつくるのは、今の小矢部市の子供たち。頑張る子供たちを小矢部市全体で応援することが大切である。

さらに令和6年度から、インフルエンザ予防接種費用の助成を高校生までに拡充する。

問 給食費無償化に取り組めないか問う。

答 財源として、ふるさと納税の有効活用も考えられるが、使途の目的や返礼品について検討していく。給食費の無償化は、なかなか高いハードルである。あつたか子育て日本一を目指す上で、子育て支援、教育環境の充実は当然であり、今後市内で詰めていく。

議員のコメント

まちをつくるのは人、これからの小矢部市をつくるのは、今の小矢部市の子供たち。頑張る子供たちを小矢部市全体で応援することが大切である。

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



藤本 議員



上田 議員



嶋田 議員



1月臨時会・2月臨時会・ 2月第2回臨時会・3月定例会の議決結果



審議された議案等、議員別賛否状況

▼ 全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和5年度小矢部市一般会計補正予算(第8号)	可決
承認第1号	専決処分事項の承認について 令和5年専決第5号 令和5年度小矢部市一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第2号	令和5年度小矢部市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第3号	令和5年度小矢部市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第4号	令和5年度小矢部市一般会計補正予算(第10号)	可決
承認第2号	専決処分事項の承認について 令和6年専決第1号 令和5年度小矢部市一般会計補正予算(第9号)	可決
議案第6号	令和6年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計予算	可決
議案第9号	令和6年度小矢部市東部産業団地事業特別会計予算	可決
議案第10号	令和6年度小矢部市水道事業会計予算	可決
議案第11号	令和6年度小矢部市下水道事業会計予算	可決
議案第13号	令和5年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第14号	令和5年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第15号	地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
議案第16号	小矢部市積立基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決

議案番号	議案名	議決結果
議案第18号	小矢部市消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正について	可決
議案第19号	小矢部市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
議案第20号	小矢部市水道事業給水条例の一部改正について	可決
議案第21号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第22号	小矢部市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について	可決
議案第23号	小矢部市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
議案第24号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第25号	証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の廃止について	可決
議案第26号	市道の路線認定について	可決
議案第27号	市道の路線変更について	可決
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任

▼ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 —：議長は表決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	山田吉晴	石間庄二	上田由美子	林登	竹松豊一	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵
議案第5号	令和6年度小矢部市一般会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第7号	令和6年度小矢部市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和6年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度小矢部市一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	小矢部市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 議案第1号	小矢部市防災基本条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予算特別委員会報告

3月定例会で開催された委員会審査において、令和6年度当初予算に対しての主な意見です。

●豪雨・地震災害の対応については、一日も早い復旧に努めるとともに、今回の災害を踏まえ、地区自主防災組織の強化等を図ること。なお、積雪・気象センサーの導入については、効果を見極め慎重に進めること。

●本庁舎整備については、一般単独災害復旧事業債を活用し、現位置での改築を前提にスピード感をもって進めること。

●シティプロモーション事業については、戦略プランをしっかりと検証するとともに、具体的な事業実施に当たっては、小矢部市への市民の愛着、誇りの醸成を図り、各課連携して進めること。

●道の駅の大規模改修については、アウトレットパークとの連携、小矢部ブランドPR事業等により、真のにぎわい、知名度向上を図り、国の補助事業を十分に活用し、観光協会の移転を含めた機能充実を図ること。

●持続可能な農業政策を図り、農業後継者の育成とスマート農業を推進するとともに、稲葉山牧野の経営方法も含め、より実効性の高い基本計画の見直しを行うこと。

●子育て支援については、産後ケア事業の充実等、より安心できる子育て環境の構築に努めること。

●台湾との交流事業については、今後の交流の拡大を念頭に各部局及び関係機関が連携して、事業を推進すること。



6月 定例会のお知らせ

次の定例会は6月14日から27日までの14日間の予定です。ぜひ、本会議や委員会を傍聴しにお越しく下さい。

※ピンクの文字はケーブルテレビやYouTubeにて生放送を行う予定です。

6月 14日 (金) 10:00~	本会議	提案理由説明
20日 (木) 10:00~	本会議	代表・一般質問
21日 (金) 10:00~	本会議	一般質問
24日 (月) 10:00~	委員会	総合計画特別委員会
14:00~	委員会	民生文教常任委員会
25日 (火) 10:00~	委員会	交通観光特別委員会
14:00~	委員会	総務産業建設常任委員会
27日 (木) 15:00~	本会議	質疑、討論、採決

編集後記

能登半島地震の被害が小矢部市でも数多く発生し、3月定例会では、地震に関連した質問が多く取り上げられ、様々な角度から議論が行われました。

「被災した方への支援」「地震直後の避難所開設」「上下水道の復旧と管の耐震化」「道路の復旧」「農地・農業用施設の復旧」「住宅耐震化率」「公共施設の復旧」「本庁舎の耐震改修・改築」などです。

地震に関係して、多くの要望や意見が議員に寄せられています。これを機会に議会が身近な存在となり、市民の安全・安心が守られ生活の向上が図られることが課題です。そのためにも、議会で何が話し合われているかを知っていただくために、OYABE VOICE が有効な資料となるよう工夫していきます。

(広報広聴委員会委員 上田記)
次回の「OYABE VOICE」は、令和6年8月の予定です。